

平成30年5月14日

各報道機関 御中

山梨大学医学部附属病院

山梨大学医学部附属病院防災トリアージ訓練の実施について
～大規模災害を想定した実践的訓練、県内基幹病院としての責任を果たすために～

本院は、山梨県内における基幹災害支援病院として、関東・東海地区に発生が予想される巨大地震を起因とする大規模災害発生時において、職員が適確かつ迅速に対応できるよう実行性のある防災トリアージ訓練^(注1)を継続的に実施しています。

また、大規模広域災害時には、自助・共助が必要不可欠であることから、関係機関・団体の他、周辺の自治会にもご協力いただき、地域社会と連携することで防災意識の向上に努めることとしています。

今年度は、これまでの防災トリアージ訓練の経験を踏まえ「NBC災害^(注2)対策^(注2)への第一歩ーその時、何をすべきかー」をキーワードとして、地域の関係機関及びDMAT隊（災害急性期に活躍できる機動性をもったトレーニングを受けた医療チーム）と連携しつつ、医療スタッフの安全確保を重視して、NBC物質による災害患者の対応手順を整えた訓練を実行することを目指します。

つきましては、当日の取材についてよろしくお願いいたします。

注1) トリアージとは、大規模災害等で一時的に多数の負傷者を受け入れる場合、限られた医療資源でできるだけ多くの人を助けるため、重症度により負傷者の搬送や治療の優先順位をつける（重症度別に黒・赤・黄・緑に分類する）ことをいいます。

注2) NBC災害とは、核（Nuclear）、生物（Biological）、化学物質（Chemical）の頭字語で表した「特殊災害」のことをいいます。原発事故や放射性物質の漏洩、生物兵器やウィルス的人為的・自然的な蔓延、化学物資の漏洩や工業災害での事故も含め、通常災害に加え対応には特別な装備や患者の除染が必要になります。

記

日時：平成30年5月19日（土）午前8時30分～12時00分頃（雨天決行）

場所：山梨大学医学部附属病院外来診療棟、他（山梨県中央市下河東1110）

参加機関等及び本学参加部署（者）：

〔他機関等〕 甲府南消防署、山梨県、中央市、県内医療機関、他大学、地元自治会、他

〔本学〕 病院各診療科・各部（センター）、事務部、各講座、学生、他

※取材の受付は、附属病院外来診療棟（外来受付ホール）にて行います。

※実施訓練の詳細は、別紙をご覧ください。

（問い合わせ先）

山梨大学医学域管理課総務・予算・資産グループ 中村

TEL：055-273-9614

（広報担当）

山梨大学総務部総務課広報企画室

TEL：055-220-8006 E-mail：koho@yamanashi.ac.jp

平成30年度山梨大学医学部附属病院防災トリアージ訓練実施計画

1 はじめに

本院では、関東・東海地区に発生が予想される巨大地震を起因とする大規模災害発生時に、基幹災害支援病院として職員が適確に対応できるよう、県内行政機関及び医療機関との連携を重視するとともに、中央市ボランティア及び周辺自治会の方々にもご協力いただき、災害時に一体となり自助・共助できるように、実行性のある防災トリアージ訓練を継続的に実施しています。

2 目標

外部医療機関の医師及び看護師等の医療スタッフ及びDMAT隊と連携して、「NBC災害対策への第一歩 ―その時、何をすべきか―」をキーワードとして、医療スタッフの安全確保を重視して、NBC物質による災害患者の対応手順を整えた訓練を実行することを目指します。

3 実施日時・スケジュール

平成30年5月19日（土）8:30～12:00頃（雨天決行）

時刻	内容	場所
8:35頃	訓練予告放送	
8:50頃	緊急地震速報、地震発生の非常放送	
8:55頃	防災・災害対策本部の設置、甲府南消防署から傷病者受入要請	管理棟3階大会議室
9:05頃	病院各所に各ゾーンを設置	病院玄関脇他*
9:25頃	各ゾーンにて傷病者受入開始（トリアージ、第2トリアージ）	病院玄関脇他*
10:25頃	訓練終了、ゾーン毎に反省会、炊き出し検食（病院玄関脇）	
11:15頃	反省会及び閉会式	臨床講義棟

※ 各ゾーンの配置場所

- ・NBC災害患者トリアージエリア；管理棟玄関西
- ・NBC災害患者除染エリア；新病棟救急外来入口
- ・トリアージゾーンA；病院玄関
- ・トリアージゾーンB；新病棟救急外来内
- ・緑ゾーン（軽傷患者）；立体駐車場
- ・黄ゾーン（中等症患者）；病院玄関ホール
- ・赤ゾーン（重症患者）；新病棟救急外来入口
- ・黒ゾーン（死亡者）；病院玄関脇

4 実施概要

- ① 午前8時50分に静岡市付近を震源とするマグニチュード8の地震が発生し、中央市は震度6弱の揺れを観測した状況で、県南西部を中心に家屋の倒壊、火災、交通事故等により多数の傷病者が発生したと想定する。
- ② 医学部キャンパス職員及び学生に安否確認の一斉メールを配信する。
- ③ 職員は、本院の被災状況を確認し、病棟等の安全を確保する。
- ④ 医学部キャンパス防災・災害対策マニュアルに基づき、防災・災害対策本部の設置、職員の召集及び各班への連絡等を行い、職員は、各部署のリーダーの指示に従い、速やかに傷病者の受入れができるよう準備する。
- ⑤ 来院する患者に対し、病院玄関においてトリアージ・タグを使用してトリアージを行い、各治療ゾーンに誘導する。
- ⑥ NBC災害の患者ごとに、脱衣とシャワーによる除染を判別する。
- ⑦ 各治療ゾーンで2次トリアージを行い、症状に応じ、帰宅、入院または転院の指示を出す。
- ⑧ 訓練終了後、臨床講義棟大講義室で反省会を実施する。

5 参加機関

甲府南消防署、山梨県、中央市、県内医療機関、地元自治会、他

トリアージ訓練実施場所 (各ゾーン設置場所)

- ・NBC災害患者除染エリア:新病棟救急外来入口
- ・トリアージゾーンB;新病棟救急外来内
- ・赤ゾーン(重症患者):新病棟救急外来入口

臨床講義棟(反省会・閉会式)

管理棟3階第会議室
・防災・災害対策本部

- ・緑ゾーン(軽傷患者);立体駐車場

- ・トリアージゾーンA;病院玄関
- ・黄ゾーン(中等症患者):病院玄関ホール
- ・黒ゾーン(死亡者);病院玄関脇

- ・NBC災害患者トリアージエリア;管理棟玄関西

取材関係者
駐車場、受付場所(附属病院1階外来受付ホール)

